

**令和4年度第2回南島原市総合計画審議会
議事録（概要）**

	内 容														
日時	令和4年9月8日（金） 14:00～16:45														
場所	南島原市役所西有家庁舎 3階大会議室														
出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">2 松崎 博文</td> <td style="width: 50%;">10 伊藤 健二</td> </tr> <tr> <td>3 林田 宙士</td> <td>11 長池 久美</td> </tr> <tr> <td>4 陣川 むつ子</td> <td>12 中村 信彦</td> </tr> <tr> <td>6 太田 香代子</td> <td>13 佐藤 信一</td> </tr> <tr> <td>7 池田 昭子</td> <td>14 高橋 利広</td> </tr> <tr> <td>8 田口 克哉</td> <td>15 大野 豊</td> </tr> <tr> <td>9 栗田 勝敏</td> <td>16 山田 千賀</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>	2 松崎 博文	10 伊藤 健二	3 林田 宙士	11 長池 久美	4 陣川 むつ子	12 中村 信彦	6 太田 香代子	13 佐藤 信一	7 池田 昭子	14 高橋 利広	8 田口 克哉	15 大野 豊	9 栗田 勝敏	16 山田 千賀
2 松崎 博文	10 伊藤 健二														
3 林田 宙士	11 長池 久美														
4 陣川 むつ子	12 中村 信彦														
6 太田 香代子	13 佐藤 信一														
7 池田 昭子	14 高橋 利広														
8 田口 克哉	15 大野 豊														
9 栗田 勝敏	16 山田 千賀														
欠席委員	1 加藤 久雄 5 中島 剛														
事務局	財政課課長 石川 伸吾 財政課政策班班長 隈部 友和 財政課政策班主査 今利 健利 財政課政策班主事 齊宮 誠一郎 （委託業者） ぎょうせい新宿分室 松永 学 ぎょうせい九州支社ソリューション営業課 松尾 和希														
会議次第	（1）開会 （2）会長あいさつ （3）議 事 【会議成立の確認】 【審議会の流れとポイント説明】 ① 市の現状について ② 前期基本計画の振り返りについて ③ 今後の審議会における審議・協議内容（案）について ④ 後期基本計画の骨子について ⑤ 意見交換 （4）その他 ① 専門部会所属意向調査書について ② 次回の会議日程等について														
資料	資料1 ：「南島原市の現況」 資料2-1 ：「前期基本計画の振り返りについて」 資料2-2 ：「第Ⅱ期前期基本計画数値目標管理表」 資料3-1 ：「第Ⅱ期後期基本計画策定までの主なスケジュールと審議・協議内容（案）」 資料3-2 ：「専門部会について」 資料4 ：「後期基本計画の計画骨子について」 参考資料 「南島原市人口ビジョン」（平成27年度策定） 「南島原市まちひとしごと創生総合戦略」（令和2年度～令和6年度）														

	内 容
事務局	(開会) (資料の確認)
松崎会長	(会長あいさつ)
高橋委員	○今回は、市長は出席しないのか。市の最上位の計画である重要性を考えれば、出席すべきではないのか。
事務局	○第1回審議会の際に諮問しているため、その後は、どの諮問機関でもそうだが市長は出席しない。ただ、途中で1回出席することは可能と思う。
伊藤委員	○ぎょうせいの立ち位置は何か。第1回審議会の資料にも名前がなく、前回の統計関係の質問にも突然答えた。
事務局	○前回説明したが、総合計画の策定にあたって、その支援をしていただく事業者として市と契約している。
議長	○審議会条例の規定により、松崎会長が議長を務める。進行を引き継ぐ。 ○スムーズな議事の進行に協力をお願いしたい。 ○会議の成立について報告を。
事務局	○審議会委員16名のうち、本日の出席は14名。よって会議は成立する。
議長	○議事に入る前に、本日の審議会の流れとポイントを事務局から説明させる。
事務局	○資料送付にあわせて示した「開催にあたって」の審議会の概要とポイントに沿って説明する。 ・今回の審議会は、会議室の都合で16時30分を目途に終了を予定。 ・議事の1と2は、報告事項。 ・議事の3は、今後の会議の流れを説明する。 ・議事の4は基本計画の骨子説明。大まかな章立てや策定の視点について、過不足や提案をいただく予定。 ・議事の5は、これまでの説明を踏まえて、今後5年間に取り組むべき重点的な施策に関して意見交換を通じて提案等をいただきたい。 ・議事の5に時間を割きたいため、委員各位の協力をいただきたい。
高橋委員	○市民アンケートの回収件数を報告する。 ・回収総数 1,164件 抽出数 4,000件に対し、回収率 29.1%。
事務局	○質問などは全て議事の5の意見交換で、という意味か。
議長	○提案等は意見交換の際にお願いしたい。質問等は適宜受け付ける。
事務局	○それでは議事の1、市の現状について事務局から説明を。
委託業者	○議事の1については、統計資料の説明となることから、委託業者のぎょうせいから説明をさせる。 (資料1により説明)
議長	○只今の説明に対して質問はないか。質問の際は挙手を。
中村委員	○地方債残高の偏差値が同規模団体の中で高い。地方債とは市の借金ということか。

	内 容
事務局	○地方債は市の借金である。ただし、本市の地方債残高の偏差値は 50 以上であり、同規模他市と比較して良好であるという結果。
伊藤委員	○3点質問する。1点目は労働力率とは何か。2点目は、若い人は聞きなれているだろうが偏差値とは何か。3点目は、同規模団体とはどうやって選出したのか。
事務局	○同規模団体については、資料1の10頁上部に記載しているが、「四国・九州地方の4万人以上5万人未満の市」を同規模団体としている。 ○統計に関する用語に関しては、ぎょうせいから説明させる。
委託業者	○労働力率とは、15歳以上の人口に占める労働力人口の割合のこと。 ○偏差値とは、平均からどれだけ離れているかを数字で表したもの。
伊藤委員	○インターネットで調べればわかる。注釈で入れるべきだ。
事務局	○そうする。
佐藤委員	○移動アンケートの部分で南島原市に進学のため転入とあるが、どこに進学しているのか把握しているか。
事務局	○移動事由アンケートには具体的な進学先の設問項目がないためわからないが、寮生活を行う口之津海員学校への進学ではないかと分析している。
議長	○他に質問がなければ、この件は説明事項なので確認いただいたとさせていただきます。
議長	○次に、議事の2、前期計画の振り返りについて、を議題とする。事務局から説明を。
事務局	(資料2-1により説明)
議長	○只今の説明に対し、質問を受け付ける。 ○なお、本件は報告事項なので、改善提案に関する意見は本日最後に予定している意見交換の場で提案いただくか、第3回審議会以降に具体的な施策を検討する専門部会で提案いただきたい。
伊藤委員	○こういった目的で現在の5段階評価にしたのか。
事務局	○100%を5つに分けるため、25%単位で区切った。
山田委員	○基本柱1の指標数が6指標と少ない。第一次産業が盛んな南島原市で、海や川といった指標がなく、もっと環境に配慮した視点が必要ではないか。
事務局	○政策、施策といった区分で指標を決めている。前期計画振り返りでは指標を替えることができないが、後期計画策定の中で指標を改めていく議論は可能。
伊藤委員	○資料2-2については説明しないのか。
事務局	○資料2-2を個別に説明すれば長くなる。その概要を資料2-1で示している。
伊藤委員	○資料2-2が一番重要な資料と考えるが、各人で確認ということか。

	内 容
事務局	○資料 2-1 は分野ごとの達成率を示したものであり、資料 2-2 は資料 2-1 の数値を細かくしたもの。資料 2-2 の指標一つずつを説明するのは時間の都合もあって難しい。
伊藤委員	○資料 2-2 に大変興味を持っている。これで、成果がはっきり出る。しかし、300%や 1,000%の達成などがみられるので、計画を作る際にいい加減であったのではないか。議題の後半に入る前に、成果をしっかりと精査したうえで話を進めてほしい。
事務局	○資料 3 で説明の予定であったが、第 3 回審議会で施策構築シートの配布を予定している。数値目標の達成率や今後の事業の方向性などをまとめた資料。施策構築シートにこの結果になった要因なども記載されている。 ○ご意見のあった資料 2-2 の施策 3-1-3 有害鳥獣対策の強化については、平成 28 年度の数値をベースとしており、計画策定時には平成 28 年度よりも少なくしようということで現在の数値目標を決定している。
伊藤委員	○令和元年度には 1,000%といった数値が出ているが、目標が低すぎたのではないか。ちゃんと評価をしないといい加減な計画になる。
事務局	○平成 28 年度の被害額からみた設定した目標値は、大間違いしていないが、実績からみると甘い目標値だったと思われる方もいるかもしれない。
伊藤委員	○通常 100%近くまで行けば良くやったとなるのが普通だが、計画に対して 1000%といった数値が出ていることから、計画自体がいい加減な計画であったのではないか。
事務局	○今回、今後の指標をどうするかについても、審議会の意見聞きながら指標を設定したいと考えているので、ご理解いただきたい。
伊藤委員	○そこは理解している。
高橋委員	○今話している内容は、議題 5 の意見交換で行ったほうがよいのではないか。
議長	○本件は基本的には説明事項。了解をいただいた、とさせていただきます。
議長	○ここで休憩に入る。15 時 15 分に再開する。 (休憩)
議長	○会議を再開する。 ○議事の 3、「今後の審議会における審議・協議内容(案)について」、事務局より説明を。
事務局	(資料 3-1、3-2 により説明)
議長	○只今の説明に対し、質問を受け付ける。
高橋委員	○第 4 回、第 5 回の日時を早めに決定してほしい。
事務局	○承知した。
伊藤委員	○部会の編成について、事業部会は 5 名となっているが、事業数も多いため人が足りないと考える。事務局の提示している、生活部会 5 名、事業部会 5 名、行政部会 4 名は決定か。

	内 容
事務局	○決定ではない。審議会の委員を均等に近い形を案として提示している。事業部会に人数が必要ということであれば、構成を変えることは可能。
伊藤委員	○南島原を元気にするには農業や漁業、そうめん業といった産業を元気にするしかない。統計データを見ると、現在、南島原市の一戸当たりの農業所得が200万円を超えていない。200万以下は世間的にワーキングプアと呼ばれる。そんな状態で、UターンやIターンは難しい。
議長	○他の委員から、部会の人数等について何か意見はないか。
高橋委員	○部会は、審議会委員と職員で構成されるという認識でよいか。また、開催する回数は何回を想定しているか。職員が素案を作ったものを審議といった流れだが、抜本的な変更もありうる。そうなった場合、回数が足りるか不安。
事務局	○部会には職員も参加する。開催数は今のところ最大4回。部会を開催後、どうしても間に合わないということであれば、部会内で話し合いを行い、追加で行うこともありうる。
佐藤委員	○前期の振り返り等を参考に、これから重点施策について協議を行う。重点施策協議後に、人数を割り振るとしたほうがよいのではないか。
高橋委員	○部会は同日同時間に開催か。また、複数の部会に参加は可能か。
伊藤委員	○委員の経歴をみると産業関係が多い。そういったところを活かした審議会にしたほうがよい。また、時期を少しずらしてでも、複数部会に参加することを可能にすることで、いろんな視点から議論ができるのではないかと考える。
事務局	○第3回は日程を決めているが、以降は部会で日程を協議。部会の構成や複数部会への参加などについては、委員の総意があれば可能と考える。
中村委員	○基本柱の8つ全て大事。複数の部会に参加するのではなく、任された委員が責任を持って審議をすればよいと考える。また、人数の構成も事務局案でよい。
大野委員	○委員が14人。これを3部会に分ける形なので、事務局案に賛成。しかし、事業部の項目が多いというのであれば、多少の変動は可能と考える。また、複数の部会への参加については、日程調整が難しくなると考えるので、しない方がよい。
議長	○これまでの意見を参考に、事務局から説明のあった全体のスケジュール等について、専門部会設置を含めて、意義はないか。
委員	(異議なし)
議長	○第3回審議会において専門部会を設置し、後期基本計画の内容について、専門部会で分割審議することとする。
	○次に、専門部会での取り扱い分野や名称、配属人数、協議の流れについて、事務局説明の内容をベースに、審議会意見を取り入れて進めるということで、意義はないか。
委員	(異議なし)

	内 容
議長	○事務局はそのように進めるように。
事務局	○基本的には事務局案をベースに進めるが、意向調査の結果から人数の調整をすることによってよいか。
委員	(了承)
議長	○議事の第4「後期基本計画の骨子について」を事務局から説明を。
事務局	○(資料4により説明)
議長	○今回は計画書骨子、構成について意見を伺う。 ○特に、後期基本計画の章立てなどの構成が提案の内容でよいかという点、見直しの視点、社会情勢の変化・新たなまちづくりに求められる視点について、記載内容に過不足がないか、という点について、意見を伺う。 ○只今の説明に対して質問はないか。質問の際は挙手を。
伊藤委員	○構成について、前期基本計画の第一部と第二部を、後期計画では第一部にわかりやすくまとめるということか。
事務局	○そのとおり。前期基本計画の序論と基本構想を後期計画の総論にまとめる形。
伊藤委員	○前回の計画は堅苦しくて難しすぎる。みんなに読んでいただけるように、優しい表現で作ったほうがよい。
事務局	○手に取って読んでもらえる計画書を目指している。次回以降、委員各位に記載内容について諮るので、ご意見をいただきたい。
伊藤委員	○女性からも意見を引き出せるよう、取り組んでいただきたい。
中村委員	○第一部に総合戦略を掲げて、第二で総論、第三で基本計画がよいと考える。目的が総合戦略であれば、最初に総合戦略についてあったほうがよい。
事務局	○総合戦略は、別の計画として作っていた「まちひとしごと総合戦略」であり、基本構想とは別のものである。説明不足で申し訳ない。 ○この総合戦略を後期基本計画に取り込むことにしている。このため、第一部に総合戦略の概要について記載する予定。また基本構想は5年前に10年間の計画として議決されているので、後期計画では前回より簡素化した記載を考えている。
議長	○事務局提案の骨子をベースに、審議会の意見を取り入れて、総合計画素案の作成を進めるということで、意義はないか。
委員	(異議なし)
議長	○事務局はそのように進めるように。
議長	○第5番「意見交換」に移る。 ○今後5年間で取り組むべき重点施策について意見交換。 ○審議会として、10年後、20年後の将来を見据えた中で、持続可能で活力のあるまちづくりのため、この5年間で重点的に取り組むべき実現可能な内容はどのようなものがよいのか、ということの議論を行う必要がある。 ○市の現況や前期計画の振り返りを踏まえた中で、委員のアイデアや提案などを述べてほしい。

	内 容
中村委員	○資料2-2の「産業経済 3-5 雇用拡大」について、企業誘致がまったく進んでいない。働く場所を作ることが必要。雇用を創出することが最重要課題。立地が悪くても、企業を誘致しないと人口が半減する。働く場があれば、移住者が増え子どもも増える。農業漁業だけではだめだと思う。
高橋委員	○会議参加前にいろんな人から事前に情報を収集している。一番多い意見は、職員の成果報酬制度の導入。今回の目標達成状況についても、目標未達に対して、どう責任をとるのか。目標の未達が自分の給与に関連するのであれば、血眼になって達成に向けて取り組むと思う。 ○人口減少問題が最重要課題。高齢者が多くなることはネガティブなのかもしれないが、日本一元気な高齢者がいるまちづくり。寝たきり老人ゼロ宣言をしてはどうか。 ○南島原市は最高の子育て環境であるという意見がある。これをさらに作り上げることで転入が増加する。また、それを情報発信することで人口増へつなげられるのではないかと。 ○高齢者と子どもを絡ませた取組は必要。
太田委員	○目指していくところは、「一人ひとりの“しあわせ”のために みんなで進める まちづくり」「これからも住み続けたい 住んでみたいまち みなみしまばら」。そのためにはどうするかを考えると、優先順位が決まってくる。目標達成0%のところに対して、底上げをしつつ、市民が何を目指して生きていくのかを示したい。内容については、部会で練るものであると考えている。そのため、部会に分かれることは賛成。
伊藤委員	○資料2-2をみると、雇用拡大以外では達成しているが、50年前と比べると南島原市は悪くなっている。評価上は良くなっているが、実態は悪くなっているのではないかと思う。他の指標はないのか。 ○評価項目を再検討して取り組むべきではないか。
事務局	○資料で示した目標値は前期計画策定にあたって設定したもの。各部署の取組としては、それぞれ様々な施策目標等がある。 ○前期計画の評価が不十分というご意見だが、次回の総合計画では、新たな指標の提案等をいただきながら作っていきたい。
伊藤委員	○施策がいい方向に進むために誘導するような指標を設定してほしい。
高橋委員	○資料4の「社会情勢等の変化・新たなまちづくりに求められる視点」について、 ・少子高齢化や少子化への対応はセットでよいのではないかと。また、産業の活性化も重要。①②③⑤は重要 ・④⑧は南島原市にとって、最重要課題なのか。時代の流れで求められているが、もっと後でいいのでは。もっと力を入れるべき場所がある。 ・総花的であり、もっと特定分野に尖らせた内容のほうがよい。 ○前期計画について、表現をもっと市民にわかりやすく。「目指します」や「図ります」といった表現はよくない。「やります」「取り組みます」といった表現にするなど、言葉の定義もしっかりと表現してほしい。
林田委員	○同じ仕事をするにしても、南島原市ではなく長崎市でもすることも可能。南島原市で仕事をする理由は、地域で必要とされていること。地域を守ることで子どもの世代でも元気なまちづくりをしたい。

	内 容
林田委員	○総花的でなく少し尖らせた内容にしたい。経済が回るとお金が落ちて住民が増えるといった面もある。 ○専門部会でもんでいければと思う。
陣川委員	○資料が多すぎ。全てがぬるま湯。 ○締めるとこは締める。 ○市長や市議会議員、若い世代も本会議の席に加わってほしい。
田口委員	○自分の専門でない分野について、これでいいのかと不安になる。専門部会では、専門である担当課の意見も聞きながら、改善可能な点については改善できる意見を出していきたい。 ○子どもや孫たちのためにも、私たちにできることをやっていかなければならない。 ○企業誘致も重要だが、来てくれないのであれば、今ある分から仕事を出していくことも大切と思う。高齢者が増えていくのであれば、高齢者が関わられる仕事を作り出していくことにも取り組んでいく必要がある。 ○微力であるがいろんな意見を出していきたい。
栗田委員	○人口減少や少子化は、島原半島の交通アクセスの悪さが原因。 ○熊本に大きな IT 関連企業がやってくる。熊本と島原半島に橋がかかれば、島原半島に住むこともできる。海底トンネルもありうる。 ○無理に企業誘致をしなくても、可能性があることを考えていくべきでは。 ○将来を考えて提案するのであれば、企業誘致に力を入れなくてもよいのでは。 ○人の動きが出てくれば、島原半島に住む人も出てくる。
長池委員	○資料 2-2 にばかばかしい項目もある。狂犬病の予防接種率など。 ○達成できなかった部分に対しても、取組を評価してもいいのではと思う。
佐藤委員	○施策の見直しを行ううえで、5年前と現在で大きく異なるのはコロナ。 ○今後の5年でコロナがなくなることはないと思うので、with コロナ。 ○そういった変化も捉えて重点施策を考えていく必要がある。
大野委員	○資料に関してメールでの質問を受け付けする機会等を設けていただきたい。
事務局	○承知した。
栗田委員	○知事が変わったので、市から雲仙市や島原市と一緒に要望に行けるよう取り次いでいただくことはできないか。
事務局	○担当部署に意見を伝える。
高橋委員	○会議録を次回の会議までにいただくとありがたい。
事務局	○前回の会議録は HP で公開している。今回の会議録も出来次第、HP に掲載する。また、会議資料の送付時に間に合えば同封する。
伊藤委員	○会議録が公開されている HP のアドレスを教えてほしい。
事務局	○後でお伝えする。
議長	○以上で、本日の議題は終了する。